

岡山連携中枢都市圏における気候変動対策の取組

気候変動対策の必要性

世界中で地球温暖化が進行する中、温暖化による気候変動の影響により、「大規模な自然災害や異常気象が増加」する他、「熱中症搬送者数の増加」、「農作物の品質低下や畜産業での生産性低下」などの危機的状況が予測される。

⇒気候変動に伴う自然災害の多発などの影響から、住民の安全・安心を守り、また、経済の担い手である中小企業の経済活動や、住民生活を持続可能なものとしていくため、二酸化炭素排出削減対策に取り組む。



「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」

岡山連携中枢都市圏の構成市町において、気候変動対策の取組を進め、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。

※真庭市は宣言済

達成に向けた取組

圏域での共同の取組

- 「岡山連携中枢都市圏一斉ライトダウンキャンペーン」をはじめとした啓発事業
- 再生可能エネルギー推進の検討
- 好取組事例の共有

※今後協議を行い適宜取組を追加

各市町での個別の取組(抜粋)

- 岡山市 本庁舎を建て替え、ZEB Ready化と電力をごみ発電等の再エネで賄う
- 津山市 超小型モビリティの導入や、親子エコフェスタなどの環境イベント開催
- 玉野市 公共施設省エネ化、ごみの減量化・資源化、市民や事業者への省エネ啓発
- 総社市 再エネ導入、省エネ推進、ごみ減量化・資源化等の啓発、新たな取組の調査研究
- 備前市 地球温暖化対策実行計画「区域施策編」の作成検討、「事務事業編」の改訂
- 瀬戸内市 第2次環境基本計画の見直し時、実質排出ゼロを盛り込んだ計画を立てる
- 赤磐市 市施設における総合的システム(再エネ⇄蓄電池⇄GHP設備)の導入
- 真庭市 “低炭素で持続可能なエコタウン”の実現に向け、脱炭素のまちづくり
- 和気町 地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)に実質ゼロ宣言を記載
- 早島町 省エネ・再エネ設備の導入拡大や、フードドライブなどによるごみの削減
- 久米南町 住民一人一人の意識の醸成のため、クールチョイスの更なる推進を図る
- 美咲町 低公害車の購入促進や家庭ごみの排出量減量化でエコな町づくり
- 吉備中央町 大規模太陽光発電所の運営、庁舎内省エネ化、ごみの減量化・資源化の促進



ライトダウンキャンペーンイベントの様子